



家族で頑張る。家族で支える。

親子就活のススメ



キャリア支援センター

本学の特徴・強み

POINT_1

大学のゴールは就職や資格取得ではなく、社会で活かせる力を養うこと。
 金城学院大学では、大学のゴールは就職や資格取得ではなく、卒業後に社会で生かせる力やこれから生きていくために必要な幅広い力を身につけることこそが本当のゴールだと捉えています。学生一人ひとりの希望や適性に基づく「就業観」の醸成を重視し、入社後の活躍や生き方までをも見据えた支援に取り組みます。

POINT_2

一人ひとりの個性を尊重し、満足度の高い就職を目指します。
 大切にしていることは、学生一人ひとりに寄り添った「個別支援」です。学生の性格や個性、希望の進路はそれぞれ異なり多様化しています。私たちは学生の性格や希望進路に合わせて、学生が本当に伝えたいことは何か、それを上手く伝えるためにはどうしたらよいかを一緒に考えます。学生一人ひとりの気持ちに寄り添い、学生が納得のできる進路を実現していきます。



キャリア支援センター

卒業後の進路や就職についてサポートしています。就職活動の準備を行うための就職ガイダンスの運営や、個人面談にて一人ひとりに合わせた個別支援を実施しています。就職について分からないことがあれば、お気軽にキャリア支援センターまでご相談ください。

金城学院大学のキャリア支援

多角的な支援で手厚くサポートしています。

就職ガイダンス pick up

昨今の就活スケジュールに合わせ、基礎的な内容はメインガイダンス、実践的な選考対策はフォローアップガイダンスで就職活動支援を行っています。各学部にて特化したガイダンスや、教員や公務員など希望進路に合わせたガイダンスも行っています。

個人面談

多様な経験を持つ最大19名のスタッフによる個人面談では、対面とオンラインのハイブリッド型による体制で、エントリーシートの添削、面接練習、就職相談などを実施しています。「カルテ」を用いて学生一人ひとりの活動状況を把握し、積み上げ式の面談を実現しています。面談は予約枠と当日枠の2つの方法で実施しています。

キャリアアップ講座 pick up

一年生から利用できる有料の学内講座です。外部の講座を自分で受けるよりも、圧倒的に安く受講することができます。数多くの講座があり、目的に合わせて対策講座を受講することができます。

学内企業説明会(企業研究) pick up

現在の就職活動において、社会や企業との接点を持つことが必要不可欠です。企業との出会いを実現する数々のイベントを実施しています。各業界・各業種の法人やOGが活躍する企業を招いて、学内で説明会やセミナーを実施しています。

OG訪問

卒業し社会で活躍している本学のOGと繋がることができるOG訪問のしくみを整えています。話を聞いてみたいOGに学生が直接連絡を取り、リアルなお話を聞くことができます。

過去の先輩の情報閲覧

過去の先輩が残した就職活動体験記を閲覧することができます。また先輩が過去にキャリア支援センターへ提供してくれたエントリーシートや履歴書を閲覧することができます。

キャリアアップ講座 pick up

ライセンススクールなどの講師の講義や指導が格安の費用で受けられる、資格採用試験対策講座。学内で受講するだけでなく、オンラインで自宅からいつでも受講できる講座も多数揃えています。

●公務員・教員採用試験対策講座

公務員教養試験対策、教員採用試験対策、公務員保育専門科目対策 など

●外国語スキル講座

TOEIC など

●各種資格取得対策講座

秘書検定、MOS検定 など

講座の詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/careerup/content/class.html>



合格奨励金制度

キャリアアップ講座を受講して、資格試験や採用試験に合格した方を対象に受講料の約3割を合格奨励金として支給します。



就職ガイダンス(プログラム一覧) pick up

キャリア支援センターでは数多くの就職ガイダンスを実施しています。採用の早期化が促進される中で、就職活動スケジュールに合わせたガイダンスを企画しています。特に就職志望の方には、可能な限りすべてのガイダンスへの参加を推奨しています。



2
年次

就職プレガイダンス

メインガイダンス

- 就職ガイダンス(4回)

フォローアップガイダンス

- 自己分析
 - ・ インターンシップ振り返り講座
 - ・ 今から始める就活講座 など

● 企業研究 pick up

- ・ インターンシップ・業界研究セミナー(6月)
企業の人事から直接インターンシップ情報や業界・仕事内容が聞ける
- ・ 業界研究セミナー(11月)
業界やテーマに沿った企業が集結しパネルディスカッション形式で本音が聞ける
- ・ 学内合同企業セミナー(2月)
企業・団体の採用担当者が学内に集結

● その他

- ・ 就活マナーポイント動画
- ・ 夏から始める就活講座
- ・ 学校推薦説明会 など

● 選考対策

- ・ WEB筆記試験対策講座
- ・ SPI筆記試験対策講座、直前対策講座
- ・ 金城ドリル
(好きな時間に筆記試験対策ができるeラーニングシステム)
- ・ グループディスカッション対策講座(後期各月実施)
- ・ 集団面接対策講座(後期各月実施)
- ・ ES作成講座(3回) など

● 各種希望進路

- ・ Uターン就職希望向けガイダンス
- ・ 公務員ガイダンス(2回)
- ・ 教員ガイダンス(2回)
- ・ 一般企業と公務員との併願する人向けガイダンス
- ・ 障がい者採用を考える人向けガイダンス
- ・ 医療・福祉系就職ガイダンス など

● 学科別

- ・ 現代子ども教育学科
幼保小就職ガイダンス(3回)
- ・ 食環境栄養学科就職ガイダンス
- ・ 看護学部就職ガイダンス(5回)
- ・ 薬学部就職ガイダンス(5回)
- ・ 薬学部学内合同セミナー

※薬学部は4年次から5年次に就職ガイダンスを実施。
 薬剤師の活躍する各業界の特徴解説や、OG懇談会を開催。面接やグループディスカッションの対策講座も開催。

4
年次

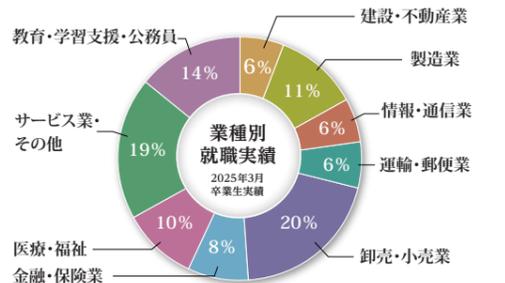
個別での相談や指導が中心となります。キャリア支援センタースタッフが就職活動のあらゆる相談に対応します。

就職活動と本学のキャリア支援に関する動画を作成しています。こちらからご確認ください。



就活スケジュール

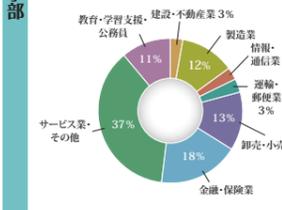
	3年生(5年生)												4年生(6年生)										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月				
一般企業	就職ナビサイト登録		筆記試験対策・業界研究									エントリー～会社説明会～ES/面接～筆記試験											
	インターンシップ事前エントリー			夏期インターンシップ					冬期インターンシップ			GD～面接										内々定	内定
								早期選考															
公務員(事務系)			学内や学外の公務員ガイダンスに参加		インターンシップ												専攻指定都市1次	専攻指定都市2次(面接)					
																	市町村	A～C日程ごとに順次受付～試験					
公立教員																							
公立保育士																							
私立幼稚園教諭・私立保育士(愛知県内)																							
医療職(SW・管理栄養士・医療事務・看護師)																							
薬剤師																							



2025年度就職実績

<https://www.kinju-u.ac.jp/ja/career/support/achievements/>

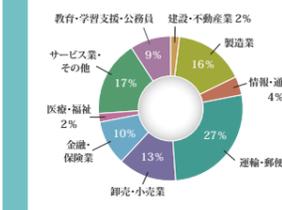
日本語日本文化学科



主な就職先・進学先(2022~2024年度)

■**教育・公務員** 愛知県中学校教員(国語)/愛知県高校常勤講師(国語)/名古屋市中学校教員(国語)/神戸市立学校園教員(国語)/ (学)平山学園 清林館高等学校/(学)安達学園 中京高等学校/(学)桜丘学園 桜丘中学校・桜丘高等学校/尾張旭市職員/東海市職員/中津川市職員/愛知県警察職員(行政)/(公)名古屋市立大学(事務職員) ■**金融・保険業** 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)/共栄火災海上保険(株)/(株)あいち銀行/(株)十六銀行/瀬戸信用金庫/蒲田信用金庫 ■**メーカー** タカラスタンダード(株)/東陽精機(株) ■**建設・不動産業** 矢作建設工業(株) ■**卸売・小売業** (株)三洋堂ホールディングス/(株)ニトリ/豊通鉄鋼販売(株)/(株)エティオン/イオンリテール(株)/(株)キクチメガネ/美濃屋(株)/ゲンキー(株)/中部薬品(株) ■**運輸業** 日本通運(株)/日本郵便(株)/宝交通(株)/近畿日本鉄道(株) ■**情報・通信業** 旭情報サービス(株) ■**サービス業・その他** (株)野田塾/(一財)愛知健康増進財団/日本年金機構/JAあいち尾尾 ■**進学** 金城学院大学大学院 文学研究科/愛知教育大学大学院 教育学研究科/早稲田大学大学院 法務研究科/岐阜大学大学院 教育学研究科 講師採用を含む

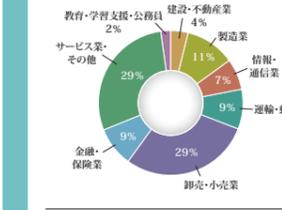
英語英米文化学科



主な就職先・進学先(2022~2024年度)

■**エアライン・運輸業** 日本航空(株)/全日本空輸(株)/ANAウイングス(株)/スカイマーク(株)/(株)フジドリームエアラインズ/エディハド航空™/(株)JALスカイ/ANAエアポートサービス(株)/(株)ドリームスカイ名古屋/ANA中部空港(株)/豊通物流(株) ■**ホテル業** (株)ジェイアール東海ホテルズ/(株)三井不動産ホテルマネジメント/(株)星野リゾート・マネジメント/リゾートトラスト(株) ■**旅行業** (株)JTB/近畿日本ツーリスト(株)/(株)エチ・アイ・エス ■**卸売・小売業** 豊島(株)/岡谷鋼機(株)/豊通ケミプラス(株)/興和(株)/三井物産プラスチック(株)/米国三越(株)/ルイ・ヴィトンジャパン(株)/ブルガリ・ジャパン(株) ■**金融・保険業** 日本銀行/三井住友信託銀行(株)/(株)あいち銀行/野村證券(株)/大和証券(株) ■**メーカー** トヨタ自動車(株)/(株)アイシン/(株)豊田自動織機/DMG森精機(株)/ヤマハ発動機(株)/住友電装(株) ■**情報・通信業** ソフトバンク(株)/(株)マイナビ/(株)日経映像/(株)京都放送 ■**建設業** 大成建設(株)/(株)トエネック ■**教員・公務員** 岐阜県中学校教員(英語)/静岡県中学校教員(英語)/金城学院中学校・高等学校教員(英語)/蒲田市職員 ■**進学** 金城学院大学大学院 文学研究科/愛知教育大学 教育学研究科

外国語コミュニケーション学科



主な就職先・進学先(2022~2024年度)

■**エアライン・運輸業** 三井倉庫ホールディングス(株)/愛知海運(株)/スプリング・ジャパン(株)/フェデラルエクスプレスジャパン合同会社/ANA大阪空港(株)/豊通物流(株)/(株)東海交通事業(JR東海グループ)/名鉄バス(株)/ANA中部空港(株)/スイスポトジャパン(株)/ANA成田エアポートサービス(株)/(株)ドリームスカイ名古屋 ■**ホテル業** リゾートトラスト(株)/(株)ジェイアール東海ホテルズ/(株)西新宿ホテルアンドリゾート/(株)星野リゾート・マネジメント/(株)エフ・ジェイ・ホテルズ ■**メーカー** (株)豊田自動織機/CKD(株)/トヨタ自動車(株)/(株)共栄社/ミタチ産業(株)/(株)新東通信(公財)トヨタ紡織(株)/(株)タカギ/(株)コーテック ■**卸売・小売業** アルフレッサ(株)/トヨタモビリティパーツ(株) 名古屋本部/(株)ジェイアール東海高島屋/豊通ケミプラス(株)/三井物産プラスチック(株)/(株)豊通マナリー/伊藤忠エン지니어リング(株)/NTP名古屋トベット(株)/(株)昭和/エルメスジャパン(株)/理研産業(株)/(株)ジュー ■**金融・保険業** ムエスティー保険サービス(株)/トヨタファイナンス(株)/ソニー損害保険(株)/(株)三井三井銀行/岡三証券(株) ■**情報・通信業** 日本電子計算(株)/富士ソフト(株)/伊藤忠テクノソリューションズ(株)/(株)USEN-NEXT HOLDINGS ■**サービス業・その他** JA愛知厚生連 豊田厚生病院/スターックスコーピージャパン(株)/(株)トヨタエンタプライズ/あいち多農農業協同組合/JAあいち知多/(株)新東通信(公財)愛知県教育振興会/JAあいち中央/尾張中央農業協同組合 ■**建設業** トヨタホーム名古屋(株) ■**公務員** 豊橋市職員/犬山市職員/いなべ市職員/長野県警察/尾張旭市職員 ■**教育・学習支援業** 中央出版ホールディングス(株)/三重県中学校(英語)

音楽芸術学科



主な就職先・進学先(2022~2024年度)

■**教員・公務員** 愛知県中学校教員(音楽)/岐阜県中学校教員(音楽)/愛知県小学校教員/愛知県特別支援学校教員(音楽)/名進研ホールディングス(株)/国家公務員専門職(財務専門官)/名古屋市職員(消防音楽隊)/恵那市職員(事務職) ■**音楽教室講師** (一財)ヤマハ音楽振興会/(株)河合楽器製作所/ワイ音楽教室/日響楽器(株)/門倉音楽教室/鳥村楽器(株) ■**金融・保険業** 愛知信用金庫/東濃信用金庫/三井住友海上火災保険(株)/丸八証券(株) ■**メーカー** トヨタ自動車(株)/三菱自動車工業(株)/(株)アルピオン ■**卸売・小売業** 島村楽器(株)/ユニー/日本調剤(株)/(株)アダストリア ■**情報・通信業** (株)マイナビ/(株)トヨタシステムズ ■**ホテル業** リゾートトラスト(株) ■**サービス業・その他** 名鉄観光サービス(株)/JAあいち知多/JAあいち尾尾 ■**進学** 愛知県立芸術大学大学院 音楽研究科/愛知教育大学大学院 教育学研究科/京都市立芸術大学大学院 音楽研究科/東京二期会オペラ研修所 本科

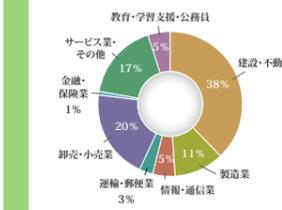
生活マネジメント学科



主な就職先・進学先(2022~2024年度)

■**運輸・郵便業** 日本航空(株)/全日本空輸(株)/名古屋鉄道(株)/近畿日本鉄道(株)/日本通運(株) ■**製造業** トヨタ自動車(株)/(株)アイシン/スズキ(株)/ヤマハ発動機(株)/DMG森精機(株)/三菱自動車工業(株)/ソニー/(株)村田製作所/(株)ワコール/日本メナード化粧品(株)/東ソー/TOPPANホールディングス(株)/井村屋(株)/小林製薬(株)/(株)Mizkan J plus Holdings/タカラスタンダード(株) ■**金融・保険業** 日本銀行/(株)三菱UFJ銀行/(株)あいち銀行/野村證券(株)/大和証券(株) ■**卸売・小売業** 豊島(株)/(株)ジェイアール東海高島屋/米国三越(株)/日本ハム冷凍食品(株)/(株)パロールホールディングス/興和(株)/アルフレッサ(株)/青山商事(株)/ルイ・ヴィトンジャパン(株) ■**建設・不動産業** 大成建設(株)/矢作建設工業(株)/(株)一条工務店/積水ハウス(株)/大和ハウス工業(株) ■**情報・通信業** 中部日本放送(株)/(株)東海テレビプロダクション/ソフトバンク(株)/(株)マイナビ/ティップ(株)/伊藤忠テクノソリューションズ(株) ■**メーカー** トヨタ自動車(株)/住友大阪セメント(株)/コリスミ照明(株)(小泉産業グループ)/大日コンクリート工業(株)/ナスラック(株)/ソノナク(株)/山京(株) ■**卸売・小売業** メディケット(株)/(株)ジェイアール東海高島屋/(株)ロッソ/(株)クイ・ウノ/(株)山加商店/(株)丸天産業/興和(株) ■**金融** 岡崎信用金庫/しずおか焼津信用金庫/トヨタファイナンス(株) ■**公務員** 浜松市職員(建築)/岐阜県職員(行政)/愛知県職員(建築)/春日井市職員(建築職)/阿久比町役場(建築技術職) ■**教員** 愛知県高等学校教員(家庭科)/名古屋市立南中学校(家庭科)

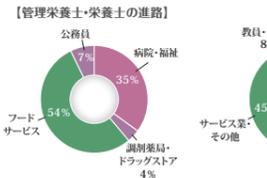
環境デザイン学科



主な就職先・進学先(2022~2024年度)

■**建設業・その他** (株)スペース/東建コーポレーション(株)/(株)六次工務店/(株)大林組/大成建設(株)/大和ハウス工業(株)/積水ハウス(株)/住友林業(株)/戸田建設(株)/クラシスホーム(株)/トヨタホーム名古屋(株)/(株)住友林業ホームテック(株)/アイシン開発(株)/(株)一興工務店/(株)安部日鋼工業/飛鳥建設(株)/高松建設(株)/矢作建設工業(株)/三菱電機ビルソリューションズ(株)/トヨタホーム三重(株)/トヨタホーム愛知(株)/(株)アールプランナー/トヨタホーム岐阜(株)/(株)協和コーポレーション ■**アパレル・繊維** (株)ワコール/(株)ストライプインターナショナル/(株)水登/西川毛織(株)/(株)マックススタイルラボ/豊島(株) 名古屋本社/(株)ユニテッドアローズ/福助(株)/青山商事(株)/ルイ・ヴィトンジャパン(株)/(株)モンクレールジャパン/アイア(株)/(株)マックスマラーザパン/美濃屋(株)/サンレジャン(株)/フェイラージャパン(株) ■**メーカー** トヨタ自動車(株)/住友大阪セメント(株)/コリスミ照明(株)(小泉産業グループ)/大日コンクリート工業(株)/ナスラック(株)/ソノナク(株)/山京(株) ■**卸売・小売業** メディケット(株)/(株)ジェイアール東海高島屋/(株)ロッソ/(株)クイ・ウノ/(株)山加商店/(株)丸天産業/興和(株) ■**金融** 岡崎信用金庫/しずおか焼津信用金庫/トヨタファイナンス(株) ■**公務員** 浜松市職員(建築)/岐阜県職員(行政)/愛知県職員(建築)/春日井市職員(建築職)/阿久比町役場(建築技術職) ■**教員** 愛知県高等学校教員(家庭科)/名古屋市立南中学校(家庭科)

食環境栄養学科



主な就職先・進学先(2022~2024年度)

■**病院・医療・福祉施設** 公立陶生病院組合 公立陶生病院/藤田医科大学病院/愛知医科大学病院/三重大学医学部附属病院/滋賀医科大学医学部附属病院/日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院/(地址)岐阜県総合医療センター/JA岐阜厚生連/掛川市・袋井市病院企業団 中東濃総合医療センター/(医)厚生会 中部国際医療センター/(医)信行会 ■**教員・公務員** 名古屋市職員(栄養教諭)/静岡市教員(栄養教諭)/さいたま市教員(栄養教諭)/愛知県中学校教員(家庭)/川崎市中学校教員(家庭)/J南門市職員(管理栄養士)/常滑市職員(管理栄養士)/春日井市職員(管理栄養士) ■**フードサービス** トヨタ生活協同組合/日清医療食品(株)/日本ゼネラルフーズ(株)/(株)グリーンハウス/エムサービス(株)/コンパスグループ・サービス(株)/富士産業(株)/(株)モスフードサービス/(株)魚国総本社/ジェイアール東海フードサービス(株)/(株)フィールコーポレーション ■**医薬・ドラッグストア** (株)スギ薬局/ウエルシア薬局(株)/中北薬品(株)/(株)杏林堂薬局/キョウワ薬局(株) ■**食品関連企業** 井村屋(株)/中部フーズ(株)/プライムデリカ(株)/(株)タカキベーカーリー/(株)湖池屋/(株)ヤタロー/名古屋製糖(株) ■**進学** 金城学院大学大学院 人間生活学研究所

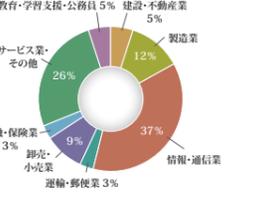
グローバルスタディーズ



主な就職先・進学先(2022~2024年度)

■**メーカー** 名古屋電機工業(株)/(株)アイシンスズキ(株)/トヨタ自動車(株)/東ソー(株)/(株)村田製作所/クニナップ(株)/住友電装(株)/(株)ノーリツ/金印/リソナ(株) ■**航空・運輸業** 名港海運(株)/トヨタ輸送(株)/伊勢湾海運(株)/日本通運(株)/(株)ANA Cargo/(株)ホームロジスティクス/ANAエアポートサービス(株)/近畿日本鉄道(株)/(株)JALスカイ/ANA関西空港(株)/ANA中部空港(株)/中部国際空港旅客サービス(株)/鈴与通関(株)/(株)JALスカイ大阪/(株)ドリームスカイ名古屋 ■**金融・保険業** 東濃信用金庫/東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)/東京海上日動火災保険(株)/大和証券(株)/SMBCコンシューマフィナンシャル(株)/中井信用金庫 ■**旅行業** 東武ツツアーズ(株)/(株)日本旅行/(株)エチ・アイ・エス/(株)阪急交通社/(株)JT B ■**ホテル業** ザ・ホテルズ(株)/(株)西武・プリンスホテルズワールドワイド/(株)ロッテラ(ロテグループ)/オリックス・ホテルマネジメント(株)/湯快リゾート(株) ■**サービス業・その他** ハウステンボス(株)/中部スカイサポート(株)/JAふさ/羽田空港サービスグループ/ワールドエンタプライズ(株)/名古屋港管理組合 ■**卸売・小売業** 国分中部(株)/アルフレッサ(株)/興研(株)/(株)松尾製作所/大同マル工業(株) ■**運輸・郵便業** トランコム(株)/豊通物流(株)/ANA新千歳空港(株) ■**建設・不動産業** 三井不動産リアルティ(株)/積水ハウス(株)/高松建設(株) ■**金融・保険業** (株)名古屋銀行/(株)愛知銀行/トヨタファイナンス(株) ■**サービス業・その他** (公財)名古屋観光コンベンションビューロー/TOHOシネマズ(株)/日本郵便(株)/みずほグループサービス(株)/(一社)日本自動車連盟(JAF) ■**ホテル業** リゾートトラスト(株)/(株)ジェイアール東海ホテルズ ■**教員・公務員** 掛川市職員/福岡県女子高等学校/学校法人梅村学園 中京大学

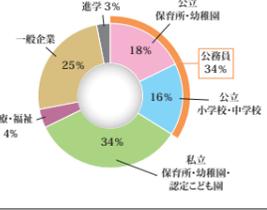
メディアスタディーズ



主な就職先・進学先(2022~2024年度)

■**情報通信** (株)マイナビ/丸紅情報システムズ(株)/旭情報サービス(株)/Sky(株)/(株)日立ICTビジネスサービス(株)トヨタシステムズ/(株)シーイーシー/トヨタ情報システム愛知(株) ■**マスコミ** ミクスネットワーク(株)/グリーンシティケーブルテレビ(株)/(株)ZTV/中部日本放送(株)/三重テレビ放送(株)/(株)アイ・シー・シー/(株)日本農業新聞/テレビ朝日映像(株)/(株)日テレ・テクニカル・リソシズ/(株)USEN-NEXT HOLDINGS/(株)ナインキャスト/(株)ジューピープロダクション/(株)CBCラジオ/(株)いまじん/(株)東通企画/(株)アイネックス/(株)FUKUMIMI/(株)CBCクリエイション/(株)セントラルビデオ/(株)名古屋テレビ映像/(株)メディア・パスターズ/NHK松江放送局 ■**広告業** (株)博報堂プロダクツ/(株)マーキュリー/(株)キョウエイアドインターナショナル/TOPPANホールディングス(株) ■**卸売・小売業** 住友商事マシネックス(株)/(株)ジェイアール東海高島屋/トヨタモビリティパーツ(株)/米津物産(株)/グライダー(株)/フワードリンク(株) ■**メーカー** 伊藤忠製糖(株)/林テック(株)/(株)豊田自動織機/小島プレス工業(株)/アルフレッサ(株)/ミタチ産業(株)/興研(株)/(株)松尾製作所/大同マル工業(株) ■**運輸・郵便業** トランコム(株)/豊通物流(株)/ANA新千歳空港(株) ■**建設・不動産業** 三井不動産リアルティ(株)/積水ハウス(株)/高松建設(株) ■**金融・保険業** (株)名古屋銀行/(株)愛知銀行/トヨタファイナンス(株) ■**サービス業・その他** (公財)名古屋観光コンベンションビューロー/TOHOシネマズ(株)/日本郵便(株)/みずほグループサービス(株)/(一社)日本自動車連盟(JAF) ■**ホテル業** リゾートトラスト(株)/(株)ジェイアール東海ホテルズ ■**教員・公務員** 掛川市職員/福岡県女子高等学校/学校法人梅村学園 中京大学

現代子ども教育学科



現代子ども教育学科

保育所・幼稚園 就職希望者 22年連続!

就職率 **100%**

私立保育所・幼稚園 就職者数 **40**名

公立保育所・幼稚園 就職者数 **21**名

保育所・幼稚園からの求人数 **603**名

公立小学校 就職者数 **18**名 (講師採用4名を含む)

※2024年度実績

公立幼稚園・保育所・こども園への就職先(2024年度)

愛知県/名古屋市一宮市/大府市/岡崎市/尾張旭市/春日井市/刈谷市/清須市/小牧市/瀬戸市/知立市/豊橋市/常滑市/豊田市/豊田市/豊橋市/長久手市/刈谷市/半田市/碧南市/弥富市/幸田町/豊山町/郡上郡/四日市市/船橋市

公立小学校・中学校への就職先(2024年度)

愛知県/岐阜県/三重県/長野県/名古屋市/浜松市/川崎市

一般企業への就職先(2022~2024年度)

(株)アソシエイトロニクス/スズキ(株)/サンエックス(株)/トヨタ自動車(株)/(株)JMTG/(株)ケンゲンジャパン/コナール/パルコ/サロラディビジョン/(株)グッドライフデザイン/岡谷鋼機(株)/ANAエアポートサービス(株)/積水ハウス(株)/(株)アレンスコポレーション

多元心理学科



主な就職先・進学先(2022~2024年度)

■**金融・保険業** (株)三菱UFJ銀行/(株)名古屋銀行/(株)十六銀行/東濃信用金庫/トヨタファイナンス(株)/丸三証券(株)/東京海上日動火災保険(株)/共栄火災海上保険(株) ■**病院・福祉** (医)静心会 橋狭間病院藤田こころケアセンター/(医)生学生会 松蔭病院/(医)育生会 八事病院/(医)豊和会 南豊田病院/ひだまりこころクリニック/(公)日本海員救済会 名古屋救済会病院/(一社)日本福祉協同機構/(株)IBS東海 ■**公務員** 愛知県職員(社会福祉)/三重県職員/愛知県警察/名古屋国税局 ■**メーカー** トヨタ自動車(株)/ヤマハ発動機(株)/スズキ(株)/住友電装(株)/(株)ミキモト/新東工業(株)/日本メナード化粧品(株)/(株)ダイキンエン지니어リング ■**建設・不動産業** 積水ハウス(株)/大成建設(株)/矢作建設工業(株)/三井物産リアルティ(株)/ニッショー ■**卸売・小売業** 岡谷鋼機(株)/トヨタタロー愛知(株)/(株)ホンダカーズ三重東/(株)中京医薬品/(株)パロールホールディングス(株)ニトリ/(株)パル ■**情報・通信業** エコシステム/ロジーズ(株)/時事通信社 ■**サービス業・その他** JAなごや/(株)星野リゾート/日本年金機構 ■**進学** 金城学院大学大学院 人間生活学研究所/愛知教育大学大学院 教育学研究科/日本福祉大学 中央専門学校言語聴覚士科

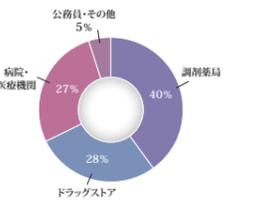
コミュニティ福祉学科



主な就職先・進学先(2022~2024年度)

■**福祉・医療機関** JA愛知厚生連/(株)ニチエ学園/(株)ベネッセスタイルケア/(福)恩賜財団 愛知県同援振興会/半田市立 半田病院/(医)参方善さくら会/(医)瑞誠会/(医)豊岡会/(福)名古屋市身体障害者福祉連合会/(福)紫水会/(株)ほほえみ/(福)愛知慈恵会/三重県国健康保険団体連合会/(福)清修会/(福)名古屋市社会福祉協議会/(福)中津川市社会福祉協議会/(福)岐阜県福祉事業団/(一社)半田市医師会健康管理センター/(医)宏潤会/(医)厚生会/藤田医科大学病院/(医)大雄会/医療法人信行会/独立行政法人国立病院機構/(福)茨城県社会福祉協議会 ■**金融・保険業** (株)百五銀行/全国労働者共済生活協同組合連合会(全労済)/西尾信用金庫/瀬戸信用金庫/信用組合愛知商銀 ■**公務員** 名古屋市職員(社会福祉)/東員町職員/岩倉市職員(社会福祉士)/春日井市職員/豊橋市職員(社会福祉士)/東郷町役場職員/桑名市職員(社会福祉士)/富山県職員(社会福祉士)/東京都職員(福祉B)/公立大学名古屋市立大学 ■**メーカー** 豊田鉄工(株) 稲葉製作所/(株)HOWA/大丸産業(株) ■**情報・通信業** ミクスネットワーク(株)/知多メディアネットワーク(株)/(株)名古屋テレビ映像 ■**卸売・小売業** (株)na I TO/アイングループ/(株)八神製作所/(株)名給/大和産業(株)/岡谷鋼機(株)/理研産業(株)/阪日屋興業(株)/中央工機(株)/(株)豊通オールドライフ ■**建設・不動産業** (株)一条工務店/矢作建設工業(株)/朝日エティック(株) ■**運輸業** 名古屋鉄道(株)/西濃運輸(株) ■**ホテル業** リゾートトラスト(株)/(株)西武・プリンスホテルズワールドワイド/(株)近鉄・都ホテルズ/沖繩ハーバーホテルビュー ■**サービス業・その他** JAあいち三河/(株)博報堂プロダクツ/JA愛知/(株)弘報社/日本年金機構/(一社)日本自動車連盟(JAF)

薬学科



主な就職先・進学先(2022~2024年度)

■**病院・医療機関** 名古屋大学医学部附属病院/名古屋市立大学病院/三重大学医学部附属病院/藤田医科大学病院/愛知医科大学病院/浜松医科大学医学部附属病院/東京歯科大学川崎総合病院/JA愛知厚生連 江南生病院/海南病院/豊田厚生病院/知多厚生病院/(独)国立病院機構 東海北陸グループ/(独)労働者健康安全機構 中部労災病院/(地址)岐阜県総合医療センター/(地址)三重県立総合医療センター/日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院/(医)豊田会 刈谷豊田総合病院/(医)徳洲会 名古屋徳洲会総合病院/(医)徳洲会 湘南厚木病院/(医)藤西厚生会 松波総合病院/(医)財団新和会 八千代病院/(医)富田病院/(公)日本海員救済会 名古屋救済会病院/みなと医療生活協同組合 協立総合病院/トヨタ自動車(株) トヨタ記念病院/(福)聖隷福祉事業団/西尾市民病院/豊橋市民病院/岡崎市民病院/岐阜市民病院/大垣市民病院/富山市民病院 ■**公務員(薬剤師)** 愛知県職員/豊田市職員/岐阜県職員/静岡市職員/国家公務員II種(医薬取締官)/名古屋市職員(研究(農芸化学)) ■**調剤薬局・ドラッグストア** アイソグ/日本調剤(株)/クラフト(株)/クオール(株)/(株)アイセイ薬局/たんぼ薬局(株)/キョウ薬局(株)/ツルハ/ウエルシア薬局(株)/(株)マツモトキヨシ/(株)スギ薬局/総合メディアカル(株)/(株)サンドラッグ/イオンリテール(株)/中部薬品(株)(V・drug)/(株)スギヤマ薬品/(株)アマノ/(株)富士薬品/(株)杏林堂薬局 ■**医薬品** 食品メーカー 小林製薬(株)/第二共(株)/おすか製薬(株)/太田薬房製薬(株)/(株)ツルハ/日本メジフジックス(株)/(株)Mizkan J plus Holdings ■**進学** 金城学院大学大学院 薬学研究科/名古屋市立大学大学院 薬学研究科



Re就活キャンパス編集長、
朝日新聞社キャリアディレクター

福井 洋平
(ふくいようへい)



1977年大阪府生まれ、京都府育ち。東京大学法学部卒。2001年に朝日新聞社に入社。週刊朝日、青森総局を経て、週刊誌「AERA」でサブカルから経済、政治ニュースまで幅広く取材。その後、就活支援サイト「就活ニュースペーパー by 朝日新聞」で就活情報の発信や就活生指導にたずさわり、多くの大学生の就活相談に乗ってきた。朝日新聞出版に出向後は企業や大学を特集する媒体、児童書の編集者を経験。2023年6月、「Re就活キャンパス」編集長に就任。「就活ニュースペーパー」で就活生の役に立つ情報を発信中。

今の就活は大変！

就職活動中、あるいはまもなく就活に臨むお子さんをお持ちのご父母のみなさん、こんにちは。今はコロナ禍以降の景気回復と、加速する人手不足を受けて活発に採用活動を進める企業が多くなり、学生優位の「売り手市場」になっています。ですが、今の就活はかつてよりも大変です。就活関連の情報は年々増え、さらに就活の「早期化」と「長期化」が進んでいて、学生の負担は大きくなっているのです。

政府が企業に呼びかける就活スケジュールは、大学3年生(大学院1年)最後の3月が会社説明会などの企業広報解禁、4年生(同2年)の6月が面接などの選考解禁です。しかし、ルールの形骸化が進み、今は3年生夏のインターンシップ(就業体験)への準備から事実上スタートしています。2025年卒採用からは就活ルールの変更で、一定の条件を満たすインターンシップに参加した学生の情報を採用選考に利用できるようになりました。それまでもインターンシップは選考に組み込まれていたのが実態なのでルールを現状に合わせたのですが、インターンシップの重要度が格段に増

し、内々定が出はじめる時期も早まったのです。就活を終えるまでに1年前後。その間、学生はずっと就活に追われています。

このような「早期化」と「長期化」に加えて、「二極化」も進んでいるといいます。内定を複数とれる学生がいる一方で、情報収集がうまくできなかつたり、売り手市場で油断をしたりした結果、内定がなかなかとれなかつたり、不本意な形で就活を終えたりする学生もいます。「売り手市場」だからとのんびりしていると痛い目にあうのが、いまの就活事情なのです。また、早いうちから内定を得たとしても、志望度が十分固まらないまま進路を決めてしまい、入社後のミスマッチに悩むケースもあります。

今の就活は、ご父母のみなさんが経験した就職活動とは別モノ。お子さんだけで乗り切るには、厳しいのが現実です。しかし、無知な親の余計な口出しは百害あって一利なし。このコーナーで「今どきの就活」を知って、優しくサポートしてあげてください。

今どきの就活を知りましょう

親世代の就活とはここが違う

バブル景気直前からバブル全盛の時代だった1980年代は好景気の中、各企業がなりふりかまわず学生を奪い合う超「売り手市場」でした。いわゆる「青田買い」も横行し、しかも当時の大学生は4人に1人のいわば「エリート」。大学さえ出れば、どこかには就職でき、しかも正社員が当たり前でした。

当時は、インターネットは一般的ではなく、自宅に送られてきた分厚い就職情報誌に付いているハガキを送って入社案内を入手し、簡単な履歴書を

郵送していました。筆記試験や数回の面接を経て、優秀な学生は1人でいくつも内定をもらったといいます。企業が内定を出した学生を他社に取られまいと豪華な懇親会を開いたり、海外旅行に連れて行ったりという、内定者囲い込みが話題になりました。就職活動の期間も大学4年生の春か夏ごろの数カ月間程度でした。

近年の就活事情をおさらい

今の日本には、「大学生」というブランドは存在しません。少子化が進む一方で大学の数は増え、いまや2人に1人超が大学生。選り好みさえしなければ誰でも大学生になれる「大学全入時代」です。バブルのころ毎年37万人ほどだった4年制大学の卒業生の数は、いま59万人前後(文部科学省「学校基本調査」)。ざっと1.5倍に増えました。

かたや、1990年代初めのバブル崩壊後、2000年代になると雇用の規制緩和が進み、企業は契約社員や派遣社員といった非正社員を増やしました。2008年のリーマン・ショックで世界同時不況が起きると、経費削減を迫られた企業はさらに正社員の数や採用数を減らし、バブル後の「就職氷河期」より厳しいともいわれた「超氷河期」に。正社員になることが簡単ではない時代になりました。

その後、世界経済は好転。安倍政権の経済政策アベノミクスによる円安

WEBエントリーとESの功罪

就職活動に大きな変化をもたらしたのが、インターネットです。ネット普及以前の学生が就職活動の最初に手にした就職情報誌は、全員の手に平等に届いていたわけではありません。当時は「学歴」による選別が当然のように行われ、上位校とそれ以外の学生には情報格差がありました。

1990年代以降、ネットが普及し、就職情報誌に代わって就職情報サイト(就活ナビ)が必須のツールになりました。企業へのコンタクトもWEB上で個人情報を登録する方法(プレエントリー)に変わり、大学による情報格差がなくなって、人気企業には応募が殺到するようになりました。

同じころに広まったのがESです。市販の規定の用紙に経歴と簡単な志望動機などを書く履歴書に対し、志望動機や自己PR、学生時代に力を入れたこと(通称「ガクチカ」)など各社が独自に設けた設問に答えるのがESの特徴です。項目数が多いうえ、一つの設問に200字から400字も書かなければならないので大変です。プレエントリーのあとESを提出して正式な「本エントリー」となります。誰でも応募はできますが、いいかげんなESでは

株高などで業績が回復した大企業は、採用数を増やしました。企業優位の「買い手市場」だった就活は、2015年卒採用のころから「売り手市場」に転じ学生優位の状況が続きました。

2020年春に世界を襲った新型コロナウイルスによる感染症拡大で状況は一変。航空、旅行、鉄道などの人気業界がコロナの直撃を受け、採用を中止したり採用数を減らしたりする企業が続出しました。2019年卒採用で1.88倍と2倍に近づいた大卒求人倍率は、2022年卒では1.50倍(リクルートワークス研究所調べ)に急落しています。しかし、コロナ禍が落ち着くと景気の回復による人手不足や、将来の労働人口が減っていくことを見越した動きにより企業の採用意欲は再び活発に。2026年卒の大卒求人倍率は1.66倍にまで増え、人手不足による「売り手市場」が戻ってきました。

面接に進むことすらできず、常に全力投球を強いられます。インターンシップでの選考でも、ESを求める企業も多く、学生の負担は増えています。

数千人、数万人の学生が応募してくるような企業は、丁寧な選考などできません。面接できる人数には限りがありますから、ESとSPIなどの適性検査を合わせた書類選考でばっさり落とす企業が多くなりました。中には、上位校の学生を優遇する「学歴フィルター」で選別する企業もあるといわれています。また、特定大学の学生をターゲットにした就活サービスも存在しています。一方で、就活ナビに学生が登録したプロフィールを見て、企業側がインターンシップや説明会、選考の案内を直接学生に送る「スカウト・オファー型」の採用も増えています。インターネットにより、新しい就活サービスが登場するスピードも年々増しており、こまめな情報収集は欠かせません。



インターンシップ急増で早期化+長期化

早く優秀な学生に会いたい企業と、就活に学業の邪魔をされたくない大学一。両者の綱引きで、就活スケジュールは前倒しと後ろ倒しを繰り返してきました。かつて両者の間には「就職協定」がありましたが、協定破りをする企業が後を絶たず、1997年に廃止されました。現在は政府がスケジュールを決めて企業に順守を呼びかけています。

この数年は「説明会は大学3年生の3月、面接は4年生の6月解禁」で変わっていません。しかし、人材獲得競争は年々激しくなり、3年生の夏から冬にかけてインターンシップ(就業体験)を実施して、早めに学生に接触しようとする企業が急増。大半の企業がインターンシップ参加者を採用試験で優遇したり、早めに内々定を出したりするようになりました。

3月の就活解禁後の選考も年々早まり、多くの企業が5月までに内々定を出すようになりました。一方で、一部の大企業は「面接6月解禁」を守っています。このため就活は3年生の夏から丸1年続くことになり、「早期化+長期化」しました。

インターンシップについては、2025年卒採用から大きなルール変更があり、参加学生の情報を採用選考に利用できるようになりました。これまでは学業がおろそかになりかねないとして、表向きはインターンシップを採用に直結させることは禁止されてきました。しかし前述のようにインターンシップを採用の一環としている企業が増え、ルールを現状に合わせたわけです。インターンシップは、学生と企業がお互いをよく知ることにつながり、ミスマッチの防止につながります。欧米では長期のインターンシップに参加した学生を採用するのが一般的です。ようやく日本でも、「インターンシップからの採用」という本来のあるべき形になるとも言えます。

ただし、採用に直結するインターンシップは5日間以上で、その半分以上を職場での就業体験にあてる、職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後にフィードバックするなどの条件があります。長い期間学生を拘束するため、実施時期は3年生以上の夏休み、冬休み、入試・春休みの長期休暇期間です。学生情報を採用に活用するのは3年生3月の就活解禁以降に限るとしていますが、3年生夏のインターンシップ以降、早々に事実上の内々定を出す企業は増えています。

ルール変更以前は、企業が自分たちの仕事について学生に知ってもらう

選考方法(ESによる書類選考→GD・面接)

学生は企業が採用をスタートすると、企業の採用ホームページ(HP)や就活ナビから、プレエントリー、会社説明会の申込、ES提出(本エントリー)などを行います。多くの企業は、ESと適性検査(SPIなど)による書類選考の後、筆記試験や面接を実施します。

面接は学生1人に対する個人面接、数人を同時に見るグループ(集団)面接、学生5～8人によるグループディスカッション(GD)など、形式はさまざまです。面接回数は3回程度が普通ですが、中には5～6回行う企業も。面接の前に、リクルーターと呼ばれる若手社員による面談を繰り返す企業もあります。

新型コロナが拡大した時期、対面の面接ができなくなり、多くの企業がオンラインによるWEB面接を一斉に導入しました。当初は企業にも学生にも戸惑いが広がりましたが、企業にとっては手軽に大勢の学生の面接がで

貴重な機会として、1日や2日間のプログラムでインターンシップを行うことが多くありました。新型コロナの影響でWEBを利用したインターンシップも広まり、オンラインと実際に対面してのプログラムを組み合わせるなど様々な形のプログラムが提供されています。ただ今回のルール変更により、「インターンシップ」を名乗れるのは5日間以上のプログラムに限定されるようになり、期間が短いものは「オープン・カンパニー」などの名称に変更されました。あまり耳慣れない言葉ですが、「インターンシップ」は長期間で就業体験ができ就活に直結、「オープン・カンパニー」などの短期間イベントは会社の説明会がメインで、就活には直結しない、というふうの違いを抑えておきましょう。選考に直結するインターンシップは企業側の負担も大きく、オープン・カンパニーなどの短期間イベントはなくなると見られます。いずれのイベントも仕事の理解を深め、インターネットだけではわからない企業の雰囲気や体感できる絶好の機会ですので、ぜひ積極的な参加をおすすめします。

学生確保のための企業側の動き出しは全体的に早まり、就活の早期化は加速しています。3年生夏に就活の山場がくるようになり、「3年時に海外留学」を考えている人にとっては悩ましい事態になっています。ただ、インターンシップ参加者しか採用しない企業は多くはありません。留学を諦めるようなことはせず、就活と両立できるスケジュールを早めに考えるなど、情報収集と心構えをしっかりしておくことが大切です。

また、インターンシップなどのイベントは参加人数も限られるため選考をすることが多いですが、たとえ選考がうまくいかなくてもその経験を生かして本番の就職活動では内定を複数取った学生もいます。くれぐれもインターンシップの選考結果だけで就活を悲観したりやる気を失ったりしないよう、サポートしてあげてください。なお、2026年卒採用は、「専門性の高い人材」に限り選考解禁が3年生の3月に前倒しされました。対象の人材はAI(人工知能)などデジタル分野の技能を持つ学生が想定されています。2027年卒採用についても同様に、選考を3カ月ほど早めることが決まっています。

き、学生にとっても1日に何社もの面接を受けられ、地方の学生や留学生も移動せずに東京の学生と同じ条件で受けられるというメリットがあり、すっきり定着しました。ただWEB面接では、企業は学生の熱意や人柄を感じにくく、学生も会社の雰囲気を体感できません。コロナ禍を経て、初期の選考はオンラインで行い、最終面接だけは対面で実施する「ハイブリッド型」の採用活動が増えています。

対面の面接が減った分、客観的な判断基準として適性検査をこれまでより重視したり、ESに加えて「自己PR動画」を提出させたりする企業が増えました。適性検査については、対策本などによる早めの対策が欠かせません。

女子の就活 様変わり

女子学生の就活も様変わりしています。かつては「総合職」といえばたいてい男子が対象で、女子は業務内容が限定的で待遇が劣る「一般職」一という構図でしたが、1986年施行の男女雇用機会均等法で採用の男女差別は法的に禁止されました。育児休業法が施行され、共働き世帯数が専業主婦世帯数を初めて上回ったのが1992年。その後も1999年に男女共同参画社会基本法が、2016年には女性活躍推進法が施行されるなど法整備が徐々に進んできました。

今では女子の総合職採用が当たり前になり、企業が「育休後の復職率

100%」などとアピールする時代です。日本企業の管理職や役員の女性比率は国際的にはまだ極めて低い水準ですが、「ダイバーシティー」(多様性)は経営成功のキーワード。成長性の高い企業ほど女子学生の採用に積極的で、男女ともに働きやすい環境を積極的に整えている傾向があります。

働く地域を限定し、引越を伴う転勤がない職種「エリア総合職」や「地域限定正社員」といった採用も増え、男女を問わず選択肢は広がっています。

●就活スケジュール 一般的な就活スケジュールを整理します。

3年(5年)	夏	インターンシップで事実上、就活スタート
	秋～冬	2月までインターンシップ開催多数。中にはインターンシップをきっかけに選考本番、春までに内々定出し
	3月	(ルール上の就活解禁)大半の企業が会社説明会とエントリー開始、一部面接もスタート
4年(6年)	4～5月	面接が本格化し、順次内々定
	6月	(ルール上の面接解禁)大手企業が最終面接・内々定
	10月	1日に多くの企業が内定式開催

その後 その他一部の企業や中堅・中小企業の採用が続く

●選考プロセス 一般的な選考プロセスの目安は以下のとおりです。※順番が前後する場合も

インターンシップ	本選考のプレエントリー(WEB登録)	会社説明会	本エントリー	書類選考(ES、自己PR動画の提出を求める企業も)	筆記試験(ESと筆記試験結果で選考)	面接(複数回、グループディスカッションも)	内定(内々定)
----------	--------------------	-------	--------	---------------------------	--------------------	-----------------------	---------

お子さんに立ちはだかる壁！

早めの準備・心構えがカギ

前述の通り、近年は1人でいくつも内定を取る学生と、なかなか取れない学生の「二極化」が進んでいます。積極的な学生はインターンシップに参加するなど早くから就活に取り組み、選考の早い中小企業からのオファーも積極的に受けて面接やグループディスカッションの機会を重ね、会社や仕事に対する理解度をどんどん深めます。これに対し、「就活解禁」の3月までのんびりしていた学生はとでも追いつけません。最初の書類選考の壁をなかなか突破できず差は広がるばかりです。多くのインターンシップがオン

メンタル面のケアも大切

親の世代がかつて選考を受けた企業は、数社から多くても10社程度だったと思います。今の就活ではインターンシップを含めれば数十社にエントリーし、20社以上にESを出す学生もいます。就活が長期化している分、「たくさん受けてたくさん落ちる」のが今の就活です。落ち続けても最終的に自分に合う1社の内定を得られればよいのですが、「落とされるたびに自分が否定されたように感じる」と心理的に追い詰められる学生もいます。先に述べたようにインターンシップの重要性も高まっており、そこでの選考も学生にとって重圧となっています。

今は、入りたい会社から簡単に内定をもらえる時代ではありません。「売り手市場」である2023年卒でも、59万人ほどの大卒者のうち正社員として就職した学生は約45万人。契約社員、派遣社員、アルバイト、パートといった非正社員に、就職や進学準備中などを合わせた人数は5万人近くにのぼりました。ここには正社員になりたくてもなれなかった人が多く含まれているとみられます。就活生はみな「自分は正社員になれないのではないか」という不安と戦っています。メンタル面のケアも大切なのです。

親子就活のススメ

親がやりがちな「3大NG」

過保護

ここまで書いてきたように、就活生を取り巻く環境、就活にかける労力、期間の長さなど、今の就活は売り手市場であっても相当に過酷です。しかし、いくらお子さんのことが心配でも、親が就活の表舞台に出てはいけません。就活は社会人の入口です。子どもの代わりに親が企業に連絡したり、スケジュールが重なって参加できない子どもの

代わりに企業説明会に参加したりしたら、採用担当者がどう感じるかは明らかです。「自立できていない」「過保護な家庭」という印象がプラスに働くことはまずありません。親が会社に接触することは、緊急時を除き基本的にNGです。

過干渉

「今日は何の会社？面接の準備は？」「○○ちゃん、もう決まったみたいよ。あなたはまだなの？」「公務員を目指さない」「焦らず大学院に進んだら？」「TOEICとか大事みたい。今から英語の勉強したら？」「(テレビのCMなどを見て)この会社よさそうじゃない」「大きな会社がいいぞ」「そんな聞いたことない会社、やめなさい」「営業？大変よ。向いてないんじゃない？」「そんなことだから落とされるんだ」……。

つい口に出してしまいそうな言葉ですよ。お気持ちはわからなくもありませんが、ぐっと飲み込みましょう。細かなチェックや露骨な関

心、時代錯誤のアドバイスや無神経な発言に子どもは悩み、傷つきます。なにより、「価値観の押しつけ」はお子さんの可能性をつぶします。

本人が納得していないのに、親の考え通りに就職したらどうなるでしょう？仕事らしんどいとき踏ん張れるでしょうか。今のお子さん世代は、私たちのころと比べて親の意向を尊重するといわれますよね。結果的に、親のひと言が早期離職につながりかねないのです。「就職先は必ず本人が納得して決める」「親は途中で意見は言っても、最終的には子どもの決断を尊重する」。ここが最大のポイントです。

無関心

精神的な負担が大きく、一部の優秀な学生を除けば一人で乗り切るには荷が重いのが今の就活です。興味も示さずに「好きにしたら」と突き放すのはやめてください。まずは大いに関心を持ち、今どきの就活を知ってください。サポートに徹し、陰で様子を見ながら、悩んだり困ったりしているようなら状況を聞いてみましょう。もちろん相談されたら積極的に助言してあげてください。

話を聞くというより話し相手になって、お子さんの考えを整理する手伝いをしてはどうでしょう。自分からあまり話をしない子には「いつでも相談にのるからね」「親に話しづらかったら、知人を紹介するから話を聞いてもらったら」などと提案するのもいいでしょう。



親にできること 親にしかできないこと

視野を広げるお手伝い

親がやってしまいがちな「3大NG」がある一方で、親にできること、親にしかできないことがあります。まずは、お子さんが就活に取り組み始めるころ、親子で就活について話してみることをお勧めします。就活は親子対話のよい機会です。親にどの程度関わってほしいか早めに確認しておく、その後の関係がスムーズになると思います。ここからのお話は、お子さんの意向に応じて関わり方を工夫してみてください。

就活で最初のうちに取り組みなければならないのが「業界・企業研究」です。多くの学生は「消費者目線」で企業を探しがち。消費者に商品やサービスを直接提供する有名な「BtoC(一般消費者向け)企業」ばかりに目がいきます。そこにエントリーが殺到するのですが、世の中には消費者に直接関わらず、企業同士でビジネスをしている「BtoB(企業間取引)企業」がたくさん。一般には有名でなくても優良な企業がまたあります。就活では、こちらにも目を向ける「ビジネス目線」が必要です。仕事の経験、知識、新聞なども駆使して、広い視野を持てるよう導いてあげてください。

経団連加盟企業は約1600社、東京証券取引所などの株式市場に上場している企業だけでも4000社近くあります。新聞の株価欄を開いてみてください。上場企業は日本を代表する企業ですが、私たち大人でも知らない優良なBtoB企業がずらりと名を連ねています。

中堅・中小企業の魅力も伝えてください。国内の企業の総数はざっと340万社。そのうち中小が実に99.7%を占めています。日本の経済を支えているのは中小企業なのです。

2026年卒の大卒求人倍率1.66倍は、学生1人に1.66件の求人があるという意味です。ところが、企業の規模別に倍率を見ると、違う景色が見えてきます。従業員5000人以上の大企業は0.34倍ですが、

300人未満の中小企業は8.98倍で1人に9件近くの求人があります。業種によっても差が大きく、金融業は0.21倍、サービス・情報業は0.34倍と厳しい一方、製造業は2.33倍、建設業は8.55倍、流通業は8.77倍で人手不足が深刻です。

BtoCの大手だけでなくBtoBや中堅・中小企業に、さらに幅広い業界に目を向ければ可能性は一気に広がります。ぜひ、ビジネス目線による企業選びのサポートをしてあげてください。お子さんが関心をもつ業界やお薦めの業界の記事があったら見せてあげましょう。

親の仕事についても話してみてください。ふだんは仕事の話などしない家庭が多いと思いますが、就活はよい機会です。社会人の先輩として、どんな仕事をしているのか、できるだけ具体的に話してあげてください。ひと言で「営業」といっても、学生は具体的な中身はほとんど知りません。会社とは何か、親の職業観、やりがいなどを話してあげてください。

求人倍率	2026年3月卒
全体	1.66倍
建設業	8.55倍
製造業	2.33倍
流通業	8.77倍
金融業	0.21倍
サービス・情報業	0.34倍

※リクルートワークス研究所
「第42回 ワークス大卒求人倍率調査(2026年卒)」より

自己分析のサポート

就活で必ずやらなければならないことの一つに「自己分析」があります。これまでの人生を棚卸しして、自分の強みを整理し、何を成し遂げたいのかや向いている仕事は何かを考えることです。内省的な作業ですから、内にもって行き詰まる学生もいます。長所をアピールするのが就活ですが、自分の長所を見つけれない学生も多くいます。悩んでいるようなら親の出番です。子どもの良いところを一番知っているのは、なんといっても親。本人が自覚していない長所・短所を指摘してあげましょう。

最初から「あなたはこうだね」と決めつけず、対話するのが効果的です。たとえば、「アルバイトでどういう役割をしていた？」「困ったことはあった？」「その時あなたはどう思ってどう行動した？」というようにエピソードを聞き出しましょう。小さなエピソードも重ねて、「あなたのいいところはそこだよ」などと伝えましょう。

面接では、小中学生のころのことまで遡って人柄を確かめる企業もあります。古いアルバムや資料を引っ張り出して、あのときあなたはこうだったと話してあげるのも手助けになります。

ES、面接、身だしなみのアドバイス

就活について率直に話し合える信頼関係が成り立ったら、いろいろ助言してあげてください。否定するのではなく、提案する形にしましょう。繰り返しますが「親の価値観の押しつけ」はNGです。

会社の採用試験で面接官を務めたことがある方もいるでしょう。本人が望めば、面接官役やESのチェックを買って出てください。言葉づかいのチェックや、身だしなみも大事です。髪型やスーツのしわなども見てあげてください。

こんな親子も——。大手航空会社の客室乗務員(CA)に内定した学

生は、自分の過去のエピソードを、思いつく限り付せんに書き出しノートに貼りました。面接官役の母親がメモを見ながらいろんな質問をし、学生が答える練習をしたそうです。

「本番で聞かれたことも過去についての質問だったので、エピソードをたくさん用意していた私には難しく感じませんでした。この練習が、一番の「緊張ほぐしアイテム」になりました。つきあってくれた母には大変感謝しています」

あくまでお子さんが望めばですが、参考にしてください。

知人の大人の紹介

核家族化が進み、今の若者は年の離れた大人と話す機会がありません。多くの学生がふだん接する大人は、大学の先生、アルバイト先の社員くらいで、社会人と1対1で話すことに慣れていないものです。社会人との会話がいきなり面接本番では、緊張しないわけがありません。

そこで、友人や会社の先輩・後輩など知人を紹介してみたいか

でしょう。お子さんが志望する業界の知人を紹介できれば、OB・OG訪問の代わりになります。面接の練習にもなります。知人のOKが出たら連絡は本人にさせましょう。大人に連絡・話をする際のマナーについても見てもらいましょう。今はオンラインで話せるツールも一般化したので、ぜひ活用をおすすめします。

就活資金の援助

就活にどのくらいお金がかかるといいますか。身だしなみから、スマホ代、交通費まで、意外に出費が多いものです。東京で1日数社の会社説明会をハシゴするだけでも交通費が結構かかります。住んでいる地域によっては、東京や大阪など都会に行ったり宿泊したりするために多額の費用が必要です。

オンラインによる説明会や面接が普及し移動費等は減る傾向にありますが、かつては首都圏在住で東京の企業に就職を希望する学生でも計十数万円といわれました。地方の学生が東京で就職を希望する場合は20万円を越すことも。なかなか内定が得られず長期化すれば、金額はふくらみます。ES用だけで数十枚必要な証明写真も、専門の写真館で撮れば安くはありません。

かかるお金は大きく分けて、(1)リクルートスーツや靴、カバン (2)証明写真 (3)交通費(遠方の場合は宿泊費も) (4)パソコンやスマートフォンの本体費用や通信費 (5)就活対策本などの書籍代 (6)食事代やコーヒー代 (7)美容室代やクリーニング代、化粧品代——などが挙げられます。もう成人なのだからすべて自分で賄うべしという方針のご家庭もあると思いますが、就活は遊びではありません。いざというときにはご支援を。

WEB面接が当たり前になる中、面接中に通信が途切れてしまい、うまくいかなかったケースもあると聞きます。ご自宅やお子さんの住まいの通信環境の整備も、親の責務です。オンライン面接用に印象を良くするため照明を買ったりする学生がいることも知っておいてください。

先輩内定者から「親御さんへのメッセージ」

最後に、先輩内定者からみなさんへのメッセージです。

●「求められたら助ける」スタンスで

「気持ちよく就活できる環境づくり」をしてあげてください。心配な気持ちはよくわかりますが、その心配が知らず知らずのうちにお子さんにとってプレッシャーになってしまうことがあります。私の両親は心配してくれているとは感じましたが、直接言葉をかけられることはあまりなく、「求められたら助ける」スタンスで接してくれました。そのほうが気楽で、就活中に急にプレッシャーを感じる事がなく、良い結果につながったと思います。

●四つのお願い

- (1) あからさまな興味関心を子どもに見せないでください。
- (2) きょうだいと比較しないでください。
- (3) 子どもの人格を否定しないでください。
- (4) 遠くから見守っててください。

●「一番の味方」だと伝えて

子どもの一番の味方であることを伝えてください。応援してくれている人がいると思うと、それだけで自信につながります。



Re就活 キャンパス >> <https://www.gakujo.ne.jp/campus/>

「Re就活キャンパス」は就職情報会社の学情が運営する就活情報サイトです。朝日新聞社が就活に役立つ情報を提供しています。有名企業だけでなく、優良中堅・中小、ベンチャー企業の情報も充実しています。

朝日新聞が編集する関連サイト「就活ニュースペーパー」では、就活生が押さえておくべきニュースや就活アドバイスを発信。企業の採用担当者へのロングインタビュー「人事のホンネ」も必見です。

Re就活キャンパス



就活ニュースペーパー



□ 福井編集長に聞いてみたいこと □

編集長に聞いてみたいこと、就活ニュースペーパーで取り上げてほしいテーマなど皆さまのご質問やご意見を募集します。下記のメールアドレスまでご連絡ください。就活ニュースペーパーのコンテンツを作る際の参考にさせていただきます。

agnavi@asahi.com

※いただいたご質問につきましては、就活ニュースペーパーでご紹介させていただくことがあります。その際、事前のご連絡はいたしません。また、個人が特定できる情報は掲載いたしません。 ※いただいたご質問には個別には返信いたしません。





🏠 就活用語解説 🏠

【就活(就職活動)】

主に大学(大学院)の新卒(修了)予定者が、卒業後すぐに就職するために行う求職活動。(1)業界や企業・職種を選ぶ(2)自己分析を行い履歴書やエントリーシート(ES)を準備する(3)会社が主催するセミナーや説明会に参加したりOB・OG訪問をしたりして企業研究を深める(4)ESを提出し書類選考・面接や筆記試験などを受け内定を得る——という一連の活動。

【新卒】

その年に大学(大学院)を卒業(修了)すること。また、その人。新卒予定者を対象とした採用を「新卒採用」という。日本では世界でも珍しい「新卒一括採用」が慣行だが、一部見直して「通年採用」を導入する企業も増えている。新卒採用に対する言葉は、「中途採用」「社会人採用」「経験者採用」など。

【第二新卒】

新卒で就職したものの数年(多くは2~3年)で退職し、再び就職活動をする人。新卒と、経験を積んだ社会人との位置づけ。近年、入社後3年以内に退職する人の割合は3割にのぼり、第二新卒を募集する企業も増えている。卒業後2~3年で就業経験のない人を含む場合も。

【新卒一括採用(メンバーシップ型採用)と通年採用(ジョブ型採用)】

新卒一括採用は、戦後の高度成長期に「終身雇用」「年功序列」と3点セットで定着した日本独特のシステム。企業にとっては、年齢、学歴などが同じレベルの学生を同時期にまとめて採用し、研修・教育を効率的に実施できるメリットがある。学生は仕事に役立つ具体的なスキルや実績は求められず、「将来の可能性」だけで採否が判断される(ポテンシャル採用)。仕事は入社後に研修や社内教育、仕事をしながら覚えるOJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)などでゼロから教えてもらう。日本の若者の失業率が低い理由の一つといわれる。

しかし、経団連と大学による「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」は共同提言で、「新卒一括採用と企業内でのスキル養成を重視した雇用形態のみでは企業の持続可能な成長は困難」と指摘。「新卒一括採用(メンバーシップ型採用)に加え、ジョブ型採用も含め、複線的で多様な採用形態に移行すべきである」とした。ジョブ型は欧米で一般的なやり方で、中途採用中心の通年採用。ITなどの専門技術を持つ人を想定している。提言は、大学での専門教育やキャリア教育の充実、企業の長期インターンシップにも積極的な姿勢を示しており、新卒のジョブ型採用が普及する可能性も。すでに、ジョブ型に近い「職種別採用」を導入する企業も増えている。

【総合職、一般職、エリア総合職】

「総合職」は、総合的な判断が必要な基幹業務を担う将来の幹部候補生で、さまざまな職種を経験してキャリアを積むケースが多い。仕事内容に制限がなく、数年ごとに部署の異動や転勤がある会社が多い。メーカーなどは「事務系総合職」「技術系総合職」に分けて募集する。「一般職」は一般事務職のことで、総合職の補助・サポート業務が中心。転勤はないが、昇進は限られ給与は総合職より少ないのが一般的。「業務職」「アソシエイト職」「ビジネスサポートスタッフ職」などと呼ぶ会社も。近年、「エリア総合職」「地域限定総合職」などと呼ばれる職種を設ける会社も増えている。総合職から転勤をなくした職種で、「総合職」と「一般職」の中間的な位置づけ。

【就職情報サイト】

就活生に企業の採用情報などを提供するWEBサイト。「就活ナビ」とも。「Re就活キャンパス(旧:あさがくナビ)」のほか「リクナビ」「マイナビ」などいくつかある。個別企業の採用情報のほか、イベント情報、就活についてアドバイスする就活サポートコーナー、気になる情報を保存しておけるマイページなどがある。企業に直接エントリーできる仕組みも備えている。1990年代半ば以降、急速に普及した。多くの就活生が複数のサイトを利用している。就職情報誌の時代には特定の大学の学生にしか情報が届かないケースもあったが、就職情報サイトではすべての就活生が企業情報を簡単に入手できる。ただし、情報の洪水に溺れてしまう学生も。「Re就活キャンパス」をはじめ、企業側から学生に接触してくるスカウト機能(「ダイレクトリクルーティング、スカウト型採用」の項参照)を備えたサイトも。

【リクルーター】

直接の人事担当者ではないが、採用を補助する目的で、入社希望者と接触する社員のこと。同じ大学の出身者や、年齢の近い若手社員が多い。リクルーターとの面会は、採用面接を兼ねている場合もあり、気を抜かず臨んだほうがよい。

🏠 就活用語解説 🏠

【キャリアセンター】

大学の就職課。キャリア支援課、就職支援センターなど、呼称は大学によって異なる(本学ではキャリア支援センターと言う)。学生生活や就職活動などを通じ、学生が将来どんな社会人になりたいか、キャリア(経験・経歴)をどのように積んでいくかを探す(キャリア開発)支援をする。就活に向けては、ESの書き方指導や模擬面接のほか、企業に呼びかけての学内説明会や就活セミナー開催、企業のインターンシップ紹介、悩み相談等を行い、企業の採用情報、求人情報やOB・OG情報などを学生に提供する。多くの大学が、ホームページや講演会などを通じてご父母向けにも就活情報を提供している。

【求人倍率】

企業の求人数の合計を求職者数で割ったもの。求職者1人につき、何件の仕事があるかを示す。景気が良いときは高く、不景気だと低くなる。1倍を割り込むと、求職者よりも求人件数が少ない状態。「大卒求人倍率」は、リクルートワークス研究所が毎年まとめている。2008年、09年卒業者の求人倍率は2.14倍で求人数も90万人を越えていたが、2008年のリーマン・ショックを境に急激に落ち込み、2011~14年卒まで求人倍率は1.2倍台、求人数は50万人台が続き、「超氷河期」と呼ばれた。2015年卒から回復に転じ2019年卒は1.88倍、約81万人に。新型コロナウイルスが直撃した2021年卒は1.53倍、68万人に急落し、6年続いた売り手市場はいったん終焉したが、2026年卒では1.66倍に回復し、再び売り手市場となっている。経済状況の指標にも使われる「有効求人倍率」は、ハローワーク(公共職業安定所)が扱った月間有効求職者数を月間有効求職者数で割ったもので、新卒の求人数・求職者数は含まれない。

【ソー活】

FacebookやX(旧Twitter)などソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS、ソーシャルメディア)を使い、双方向でコミュニケーションをとる就職(採用)活動。企業は採用情報などを発信し、学生は自分の情報を企業に向けて公開する。短時間の面接より友人関係やふだんの活動の様子など学生の人となりわかるため、SNSの情報を採用の参考にする企業も。企業の採用担当者は就活生のSNSを見ていると思っただ方がよい。人に見られて恥ずかしいこと、誰かの悪口、社会的に問題になること、アルバイト先で知った個人情報や企業秘密などは書き込まないのが基本。

【中小企業】

国内の全企業数は340万社で、中小企業は国内の全企業の99.7%に上り、雇用者数では全体の7割を占める。中小企業には、社員一人ひとりの責任・裁量が大きい、業務全体に関われる、経営者に近い、顧客も近い、チャレンジ精神が発揮しやすい、出世が早い、転勤が少ない——といった大企業とは違うメリットがある。就活では名前がよく知られた大企業に目が行きがちだが、早いうちから中小企業にも目を向けることも大事。中小企業基本法の定義では、「製造業」「建設」「運輸業」などでは従業員300人以下または資本金3億円以下、「卸売業」では従業員100人以下または資本金1億円以下の企業。「サービス業」では100人以下または資本金5000万円以下。「小売業」では従業員50人以下または資本金5000万円以下。

【ブラック企業】

違法または悪質な労働条件で働かせる会社。違法・脱法的な“反社会的企業”一般を意味していたが、2008年ごろから就職難を背景にインターネット上で呼ばれるようになって広まった。特徴は、(1)「君の代わりはいくらでもいる」との圧力を背景に若者に異常な長時間労働を強い(2)大量に採用し直後から生き残り競争を課して大量に辞めさせる(3)優秀・従順でない社員はパワハラで精神的に追い込み「自己都合」退社させる——など。

【リクルートスーツ】

就職活動の際に着るスーツ、またその着こなしのスタイル。スーツは黒、紺、濃いグレーなどオーソドックスな色が多く、シンプルな形。就職活動の長期化や説明会などで毎日着るため、2~3着用意すること。1着2万~3万円程度が標準。シャツやベルト、靴、カバン、コートなど、一式そろえるため費用がかかる。色や形にこだわるよりも、アイロンをきちんとかけるなど清潔感や身だしなみを整えることが大切。最近では、服装から個性や人柄を見たい、リラックスした普段着で素を見たいといった理由で、面接などに「私服でお越しください」という企業も増える傾向にある。

🏠 就活用語解説 🏠

【学校推薦制度】

主に専門性の高い理系学生の採用で一部大手企業と有力大学の間にある制度。大学が学生の推薦状を出し、学生が企業に提出する。推薦を得た学生は高い確率で採用されるが、他社を自由に受けることはできない。大学や研究室ごとに数が決まっているケースが多い。企業の採用意欲が高まると、推薦の比率を高めて確実に採用しようとする企業が増える傾向がある。内定を得た学生が大学に推薦状発行を依頼して会社に提出する「後付け推薦」もある。企業にとっては内定辞退を防ぐ効果がある。推薦制度に対する言葉は「自由応募制度」。

【OB・OG訪問】

学生が、企業で実際に働いている先輩社員を訪問し、社風や仕事内容、働きやすさなどを聞くこと。大学のゼミやサークル、アルバイトなどのつながりを利用するほかに、キャリアセンターで名簿を公開している大学もある。人事部で紹介してくれる会社も。学生は社会人に貴重な時間を取ってもらうことを忘れずマナーに気をつけ、企業について事前に調べられることは調べ、聞きたいことを整理しておくことが大事。ネットなどではわからない情報や本音を聞けるだけでなく、ESを見てもらったり、志望理由、自己PRを聞いてもらったりするチャンスでもある。OBはその大学の卒業生、先輩。OGは女性の卒業生。企業研究に欠かせない活動であり、大学の先輩のツテがなければ、直接のOB・OGでなくてもよいので、志望する会社の社員の話は必ず聞くようにしたい。近年は、オンラインでも行われるようになった。

【自己分析】

就職活動に臨む学生が、これまでの人生を振り返り、自分はどのような人間なのか、何が得意でどんな仕事に向いているのかを考える作業。「今までどのような活動に力を入れてきたか」「失敗体験や成功体験からどのようなことを学び、自分にどう影響したか」「人とのどういった関わりが得意か」「今後どのように成長していきたいか」などを分析する。「自分史」を整理したり、これまでの体験を項目ごとにひたすら書き出ししたりするやり方もある。分析してまとめた内容を、志望企業選びのほか、ESの自己PRや長所・短所欄の作成、面接に生かす。自分1人では見えない部分もあり、友人や親の助言が気づきのきっかけになることも。

【エントリーシート (ES: イーエス)】

企業が独自に作成する採用選考の応募用紙のこと。氏名、住所、経歴、大学、専攻といった基本情報に加え、「自己PR」「学生時代に力を入れたこと(「通称「ガクチカ」)」「志望動機」の3大テーマに大きなスペースを割くものが多い。各社独自の質問を工夫し、学生の個性や志望度を測ろうとする。白紙に「あなたを自由に表現してください」という欄を設けたESや自分らしい写真を貼らせる会社も。WEB入力方式の企業が主流だが、手書きにこだわる企業も少なくない。多くの企業がESによる書類選考で面接に呼ぶ学生を選ぶため、採用選考の最初の関門といえる。また、書いて終わりではなく、その後の面接ではESをもとに質問される。

1991年にソニーが「学校名不問」を掲げた際に導入したのが始まりとされ、その後急速に広まった。多くの項目、大量の文字数を書かなければならないうえ、数十社に提出するのが当たり前。就活生は大きな負担を強いられている。

【自己PR動画、WEB録画面接】

学生がパソコンやスマートフォンを使って自己PRなどを話す姿を撮影し企業に送信、企業はその動画を見て選考する手法。ESだけではわからない人柄が伝わるとして、近年、導入する企業が増えている。学生は指示されたWEBシステムにアクセスして、30秒や1分で自己PRをしたり、数問の質問に回答したりする。企業側は低コストで効率的に選考できる。コロナ禍で、1次面接の代わりに使った企業も多い。

【インターンシップ】

学生が在学中に一定期間、企業や官公庁などで就業体験をすること。実際の仕事やグループワークを体験することで、働くイメージを明確にし、仕事選びのヒントにすることができる。大学が受け入れ企業を紹介し、インターンシップへの参加が授業の単位として認められるケースも。原則無報酬で数日から10日間ほど実施されるのが主流だが、有給で数カ月間行う欧米流のインターンシップもある。「就活解禁は大学3年の3月」の就活ルールが続く中、早く学生に接触しようと多くの企業が3年生の夏のインターンシップを実施するようになり、就活早期化の一因となった。長い間、キャリア教育の一環として採用に直結させることは禁じられてきたが、2025年卒採用からは就活ルールの変更でインターンシップに参加した学生の情報を採用選考に利用できるように。ただし、5日間以上でその半分以上を職場での就業体験にあてるといった一定の条件を満たす必要がある。実施時期は、夏休み、冬休み、入試・春休みの長期休暇期間。学生情報の採用活動への活用は就活解禁以降に限られるが、3年の夏インターンシップ以降、早々に事実上の内々定を出す企業も多くなっている。



🏠 就活用語解説 🏠

【会社説明会、WEB説明会】

企業が学生を対象に、会社の概要や採用情報、求める人材などを説明するためのイベント。企業が採用のために個別に開く「会社説明会」は大学3年生の3月解禁。ほかにも、就職情報会社が多数の企業を集めて開く「合同企業説明会(合説=ごうせつ)」や、大学が企業を集めて開く「学内セミナー」など様々なタイプがあり、実際には多くが3月以前に開かれている。人気企業の個別説明会はWEBでの事前予約が数分で満席になってしまうこともあったが、新型コロナ以降はWEB説明会に切り替える企業が増え、ハードルが下がった。説明会参加をエントリーの必須条件にしている企業もある。

【WEBエントリー(プレエントリーと本エントリー)】

インターネットで企業の採用選考に応募すること。現在は多くの企業がWEBを通してエントリーを受け付けていて、就職情報サイトや企業の採用ホームページから申し込む。事前登録の「プレエントリー」と、ESを提出して正式に応募する「本エントリー」がある。プレエントリーは気軽にできるため、1人で数十社、中には100社以上に登録する学生もいる。その企業に興味関心があるという意味表示でもある。プレエントリーすると、企業から会社説明会の日程案内や採用に関する情報が届くようになる。

【適性検査】

学生の基礎学力や性格をはかるテストで、リクルート社の「SPI3」などが有名。採用選考の一つとして多くの企業が実施している。主に基礎能力検査(言語・非言語)と性格検査があり、書店には対策本がずらりと並ぶ。ペーパーテストのほか、自宅などのパソコンで回答するWEBテスト形式、全国にあるテストセンターに向かい受ける形式などがあるが、コロナ後はWEBテストが急増した。総合点で一線を引いたり、特定の科目の点数が極端に低い人を不合格にしたりする企業が多く、ESと適性検査による書類選考を通らないと面接に進めない。数学など得意分野がある人は、必ず対策しておく必要がある。新型コロナの影響でグループディスカッションや対面面接ができな分、評価基準を補おうと適性検査を2種類実施するなど重視する企業が増えた。

【グループディスカッション(GD)】

採用選考の一つとして実施される集団討論。5~8人程度のグループで、与えられたテーマについて討論する。自由討論方式、グループワーク方式、ディベート方式などがあり、討論させるだけの場合もあれば、討論後にグループとしての意見や考えを発表させる場合もある(このほか、複数の選択肢から優先順位を決める「インバスケ方式」、国内の電柱の数などを問う「フェルミ推定方式」も)。司会、書記、タイムキーパーなどの役割を決めるケースや、「新商品を考えて」というワーク的な討論も。コミュニケーション能力、リーダーシップ、論理性、集団の中での振る舞いなど様々な面から評価される。意見を言うだけでなく人の話を聞く力も大事。学生の間では「グルディス」とも呼ばれる。最近はWEBで実施する企業も。

【WEB(オンライン)面接】

従来から一部企業で実施されていたが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言で対面面接ができなくなった2020年春、多くの企業が一斉に導入した。対面による面接と比べて、学生は会社を体感できず、企業も学生の人柄が見極めにくいデメリットがある半面、学生は移動せずに気軽に受けられ、企業も効率的に面接を行えるメリットがある。とくに地方や留学中の学生も都会の学生と同じ条件で受けられるようになり、企業にとっては受ける学生が多様化した。ただ、お互いに理解不足のまま内定したケースもあるとみられ、入社後にミスマッチに気づく例が増えるのではと懸念されている。コロナが収束しても、初期選考はWEB面接で最終面接は対面で行う企業が多く、「ハイブリッド型」が定着した。

【内定、内定取り消し】

日本経済団体連合会による「採用選考に関する指針」で内定を出すのは「卒業・修了年度の10月1日以降」とされ、政府主導に代わってからも踏襲されている。例年10月1日には多くの企業が内定者を集めて「内定式」を一斉に開く。リーマン・ショックやコロナショックの後には内定を取り消す企業が続出し社会問題に。内定通知書と誓約書を交わした段階で労働契約が成立するため、内定取り消しは基本的に解雇と同じで簡単にはできず、会社の都合で安易に内定を取り消してはいけないことになっている。もし内定取り消しを告げられても、大学のキャリアセンターやハローワークに相談するなど簡単に諦めないことが大事。



就活用語解説

【内々定】

正式な内定を出す前(卒業・修了学年の10月1日より前)に、企業が「あなたを採用します」という意思を学生に示すこと。事実上の内定だが、労働契約はまだ成立していないので注意が必要。

【お祈りメール】

企業からの不合格通知メール。文末に「〇〇様の就職活動の成功をお祈りしています」「ご健闘をお祈り申し上げます」などと書かれていることが多い。学生の間でこう呼ばれるようになった。合格者だけに次の面接日程などの連絡メールを送り、不合格者には何の通知もしない企業もあり、「サイレント(沈黙)お祈り」と呼ばれる。学生優位の売り手市場の時代には、学生側が連絡なしに面接に来ない、内定者と連絡が取れなくなるといった「サイレント辞退」が増え企業を困らせた。

【オワハラ】

「就活終われハラスメント」の略で、内定(内々定)と引き換えに就活を終えるよう企業が学生に迫ること。「今すぐここで他社に断りの電話を入れて」などと迫る悪質なケースもあり、社会問題化した。オワハラは「職業の選択の自由」を侵害する違法行為。

【ダイレクトリクルーティング(ダイリク)、スカウト型採用】

学生の応募を待つのではなく、企業側から学生に連絡して行う採用活動。学生が自己PRや自己紹介文、学歴、志望業界などをサイトに登録し、これを見た企業が学生に面接を申し込む。中途採用では一般的な手法だが、新卒採用でもスカウト型に対応する就活サイトやダイリク専用のサイトが増え、定着しつつある。

【就職エージェント】

就活生一人ひとりに専任のアドバイザーがつき、希望や適性に合った企業を紹介する仕組み。学生は無料で利用できる。中途採用で一般的な人材紹介サービスの新卒版で、大手からベンチャーまで業者が増えている。内定して入社が決まれば企業からエージェントに成果報酬が入る方式のため、強引な「オワハラ(就活終われハラスメント)」を受けたケースもあり、業者の見極めも重要。

【オヤカク、オヤオリ】

企業が内定を出した学生に対して、親が納得するか確認を求めたり、親と会って採用理由を説明したりすること。一般に有名ではない会社が、親の反対による内定辞退を防ぐために行うケースが多い。あいさつの電話、手紙や会社案内、自社製品の送付、家庭訪問など、やり方はさまざま。「オヤオリ」は、就活の時に企業が親に対して行う説明会(オリエンテーション)のこと。

キャリア支援センターからご父母の皆さまへ

昨今の就職活動における環境は、年々変化しています。選考のハイブリッド化、就活の早期化、インターンシップの取扱い変更など、様々な不安を感じているご父母の方や学生もいらっしゃると思います。

希望した会社に入ることが就職活動のゴールでは決してありません。入社はいくまでもスタート。私たちキャリア支援センターではこのような考えの下、入社後の活躍や生き方まで見据えた支援に取り組んでいます。

私たちの特色は『就業観』の醸成を重視していること。社会人として働いていくうえで、どのような心構えが求められるか。

それを私たちから一方的に教えるのではなく、学生自ら考え、気づくことが何より重要であると考えています。

だからこそ私たちは学生一人ひとりに寄り添い、対話を重視した個別支援を徹底しております。今後も引き続き、個別相談、エントリーシートの添削指導、面接練習等は、対面とオンラインで対応してまいります。学内での就活イベントにおいても、適切な時期に適切な情報が学生へ届くように運営を行っております。

対面とオンラインの両面による支援の充実をより一層図り、学生それぞれの置かれた状況にしっかりと向き合い、寄り添うことで一人ひとりの個性を尊重した就活支援を実施しています。

就職活動



Q キャリア支援センターではどのような情報を得ることができますか？

A 就職活動に関する様々な情報を得ることができます。例えば、キャリア支援センター前にはラウンジには、一般企業の就活イベントチラシ、企業や公務員の採用パンフレット、専門職向けイベント情報や法人パンフレット、就活冊子、Uターン就活情報チラシなどを掲示・配架しています。また就職活動に欠かせない四季報、書類選考対策本、筆記試験対策本、業界マップなどの書籍の閲覧、貸出も行っています。まずはお気軽にキャリア支援センターにお越しください。

Q インターンシップや就業体験には、どのくらいの学生が参加していますか？
また参加するにはどのように申し込みますか？

A 夏休みなどの長期休暇を利用して8割以上の学生がインターンシップや就業体験に参加しています。インターンシップは、就職情報ナビサイトや、企業・自治体の採用ホームページ、求人ナビから情報を得ることができます。またキャリア支援センターでは3年生向けにインターンシップを探すための講座も実施していますので、ぜひご参加ください。

Q 公務員になるためには何から始めたらいいですか？

A 公務員にも様々な働き方があります。まずは興味がある仕事や自治体の情報を集めてみましょう。ある程度志望が固まったら、筆記試験の対策、選考の準備を始めましょう。特に筆記試験の対策は早期からの準備がお勧めです。

Q 外国語取得級や資格の取得などは採用に影響しますか？

A 外国語の場合、実際に英語を活かす業界である商社や外資系などでは必要になってくることもあるので、取得していると有利になることもあります。それ以外の資格でも専門系に進む場合は有利なこともあります。面接中に「なぜこの資格を取得しましたか？」と聞かれた際に、「就活を有利にするため」と答えたと、逆に不利に働いてしまいます。

Q 授業との兼ね合いや出席率など就職活動とどう並行して進めていけばいいですか？

A 単位を順調にとっていれば4年生になると授業はかなり少なくなります。基本的には学業優先のため、就職活動中は企業にその旨を伝えればスケジュールを調整してもらえる場合もありますので、まずは相談してみましょう。

Q 先輩方が過去に受けた就職試験でどのような対策をしていたか、知る方法はありますか？

A OB・OG訪問の他に、就職活動体験記の閲覧が可能です。就職活動体験記は約3700企業の選考書類、面接対策などを学ぶことができるため、就活生に人気な選考対策です。

Q U・Iターンについての支援はされていますか？

A 金城学院大学では、2017年に三重県との協定締結に続き、2018年には岐阜県、2020年には静岡県、2021年には福井県、2025年には京都府と「就職支援に関する協定」を締結し、学生の就職活動を相互に支援することが確認されました。学生への企業情報や各種イベントの案内、合同企業説明会の開催、U・Iターン就職に関する情報交換など就職支援のさらなる強化を図ります。

Q 低学年からできることはありますか？

A 金城学院大学では低学年向けにも「キャリア」を考える授業を実施しています。すぐに就職活動の対策をするのではなく、様々な経験をしていただきたいと考えております。学内での活動やアルバイトなどの学外活動など、大学生だからこそ経験できる・挑戦できることもあると思います。ご父母の皆さまからも是非そういったお声がけをしていただければと思います。

Q 学部・学科によって就活スケジュールは異なりますか？

A 学部・学科毎に大きく異なることはありませんが、希望進路先によって変わってきます。公務員や、教員、保育士や医療職によって、開始時期や選考の内容も異なりますので早めの情報収集が大切です。P2の就活スケジュールをご参照ください。